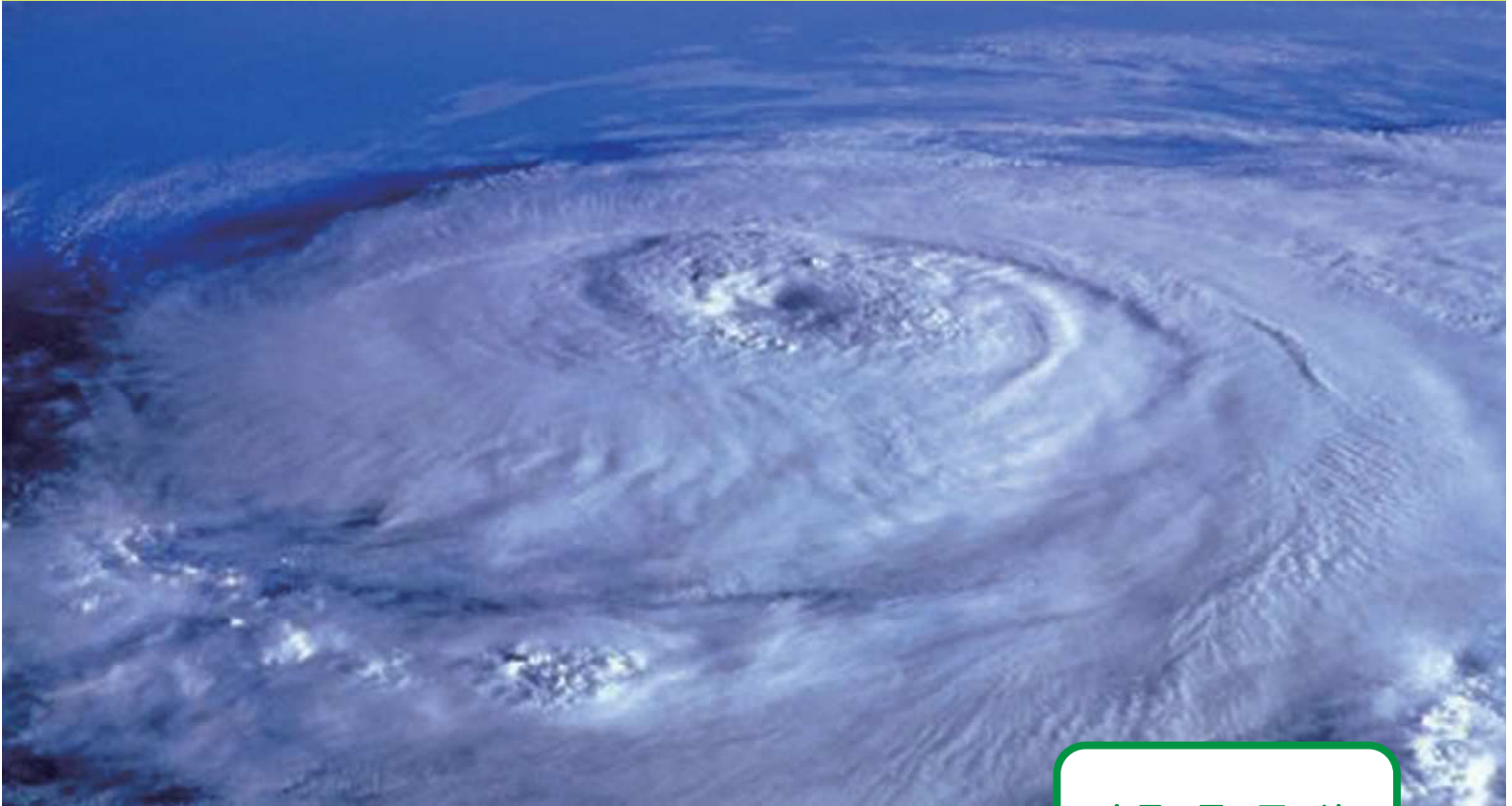


## 第3章

# 台風



宇宙から見た台風の雲の様子

台風の雲の様子 (画像提供: 気象庁)

台風の雲の下では  
どんなことが  
おきてるの？

## いっしょに考えてみよう

### ぼうさい 防災クイズ

Q1

福岡県には何月に台風が近づくことが多いでしょう。

- ①6月と7月
- ②8月と9月
- ③10月と11月

### ぼうさい 防災クイズ

Q2

台風が発生したというニュースが流れました。このとき取るべき行動は次のうちどれでしょう。

- ①台風が近づいてきたら高潮が発生するかもしれないので海を見に行く。
- ②台風の進路に気をつけ、事前に備えを始める。
- ③毎年のように台風が近づくが特に被害がないので何もしない。



発生の仕組み・どんなことが起きる？

# 台風って何だろう？

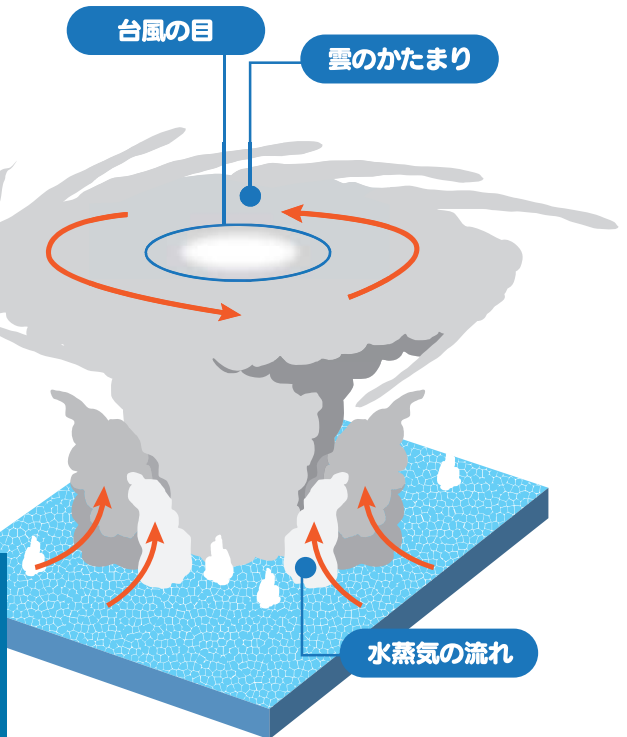
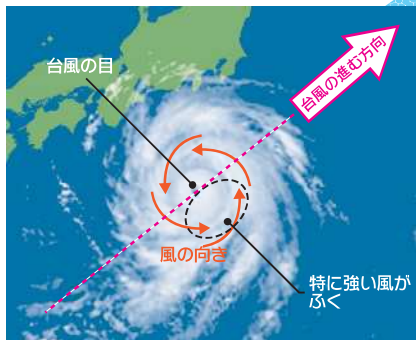
## 台風とは

台風は日本よりずっと南の海水の温度が高い海で生まれます。海水の温度が高いと水蒸気が多くできます。多くの水蒸気が集まって雲ができ、さらに雲同士が集まり、うずをまいて風と雨をもたらす大きな雲のかたまりになります。その雲のまわりの風の速さが秒速17.2mをこえると「台風」とよべます。

台風は中心に近いところほど多くの雨がふり、強い風がふきます。

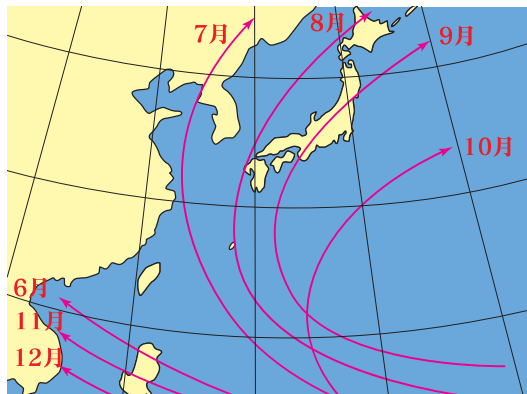
「台風の目」とよばれる台風の中心には雲はほとんどないため、雨はあまりふらず、風も弱まります。

台風は時計のはりの回る向きと反対に回転しながら進みます。風の強さは進む方向の右側と左側でちがひ、右側では台風の進む方向と風の向きが同じになるので、特に強い風がふきます。



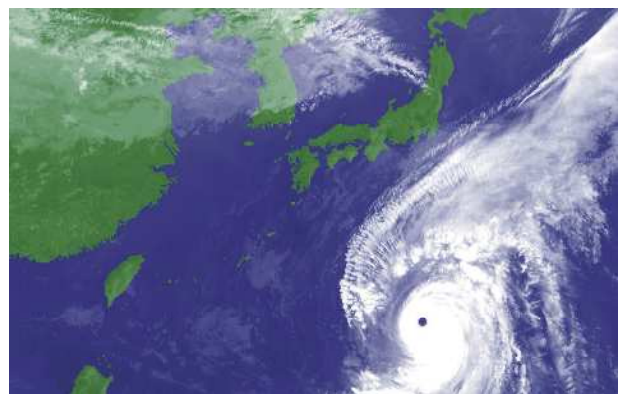
## 台風はいつごろ近づくの？

台風は7月から10月に日本に近づきやすくなっています。そして、福岡県の近くを通過する台風は8月、9月が多いです。



台風の月別経路

(気象庁ホームページより作成)



令和元年台風第19号

(画像提供: 気象庁)

# 台風からこんな災害につながっていく

台風の大<sup>き</sup>雨、強<sup>あつ</sup>風、気<sup>へん</sup>圧<sup>か</sup>の<sup>さい</sup>変<sup>がい</sup>化によって、さまざまな災害をもたらします。

風がとても強く歩くこともできず、建物や木がたおれることもあります。



ぼう ふう  
**暴風**

大雨によって川の水があふれて建物などが水につかたり、水没したりします。



こう ずい  
**洪水**

強風によって波が海岸へふきよせられ、波の高さが高くなります。海岸にいる人が海にひきこまれることもあります。



たか なみ  
**高波**

海面をすいあげたり、波をふきよせたりすることで海面が上昇します。海に近いところでは建物が水につかたり、水没したりします。



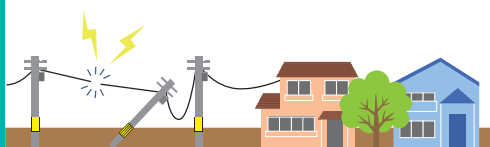
たか しお  
**高潮**

大雨によって地面がずれたり、土や砂、石がおし流されます。建物がおし流されることもあります。



ど しゃ さい がい  
**土砂災害**

強風で電柱がたおれたり、雷<sup>かみなり</sup>を受けたりするなどして、電気が使えなくなります。



てい でん  
**停電**

# 風の強さと被害

平均風速 (おもむきの時速)	秒速10~15m ~時速約50km	秒速15~20m ~時速約70km	秒速20~25m ~時速約90km	秒速25~30m ~時速約110km	秒速30~35m ~時速約125km	秒速35~40m ~時速約140km	秒速40m~ 時速約140km~
風の強さ (予報用語)	やや強い風		強い風	非常に強い風		猛烈な風	
目安の 速さ	ふつうの道路を走る 自動車の速さ		高速道路を走る 自動車の速さ		特急電車		
人へのいきょう	向かい風では歩きにくい。かさがさせない。 	向かい風では歩けなくなり、転ぶ人も出てくる。 	何かにつかまっていなくて立ってられない。とんできたもので、けがをするおそれがある。 	外を歩くのはとても危険。 			
外の様子	木や電線がゆれ始める。 	電線が鳴り始める。かんぱんなどがはずれ始める。 	細い木が折れたり、根がはっていない木がゆれ始める。かんぱんが落ちて、とびちる。道路ひょうしきがかたむく。 	たくさんの木がおれる。電柱や電灯もおれるものがある。ブロックの壁がおれてこわれることもある。 			
走っている車の様子	高速道路を走っているとき、車が横に流されるような感覚がある。 	高速道路を走っているとき、車が横に流されるような感覚が大きくなる。 	いつものスピードで走るのがむずかしくなる。 	走っているトラックがおれる。 			
建物の様子	といがゆれ始める。 	屋根がわらがはかれるものがある。雨戸やシャッターがゆれる。 	屋根がわらがとびちることがある。固定されていないプレハブ小屋が移動したり、たおれたりする。ビニールハウスのフィルムがやぶれる。 	固定できていない金ぞくの屋根の材料がめくれる。 	建物の外側に付けている材料がとびちる。 	こわれる建物がある。がんじょうな建物でも変形するものがある。 	
瞬間風速 (おもむきの)	秒速20m		秒速30m	秒速40m	秒速50m	秒速60m	

※平均風速: 10分間の平均風速を示します。  
 ※瞬間風速: ある瞬間の風速を示します。

(気象庁ホームページより作成)



ひがい ぶせ  
どうしたら被害を防げる？

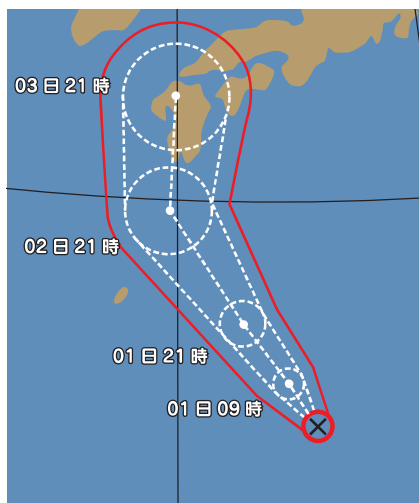
# 台風から身を守るには



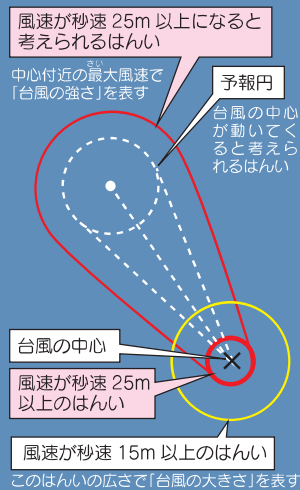
## 台風の進路に気をつけよう

天気予報などで台風の情報を見ると、大きい円(黄色)と小さい円(赤色)で台風を表しています。大きい円は強い風がふくはんいで、小さい円はより強い風がふくはんいを表しています。

円が福岡県に近づくような進路の場合、福岡県に風や雨などの台風の影響があります。



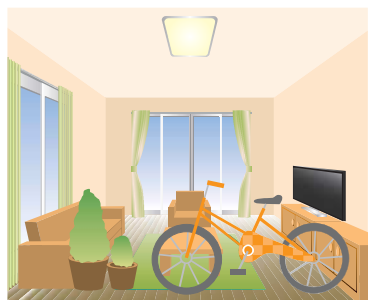
### 台風の進路の見方



## 台風のときは備えが大事

台風の進路は数日後まで予想されるため、事前に備えることができます。事前に備えることで被害を少なくすることができます。外に置いてあるものを家の中に入れる、台風が近づいてきたときには家の中から出ないなどの備えをしましょう。

また、26ページの「マイタイムライン」に書き込んでみましょう。



## 高潮が起これたらここに注意

高潮では海岸に近いところに水が流れこんできます。高くなっている場所やがんじょうな建物などへすぐに避難しましょう。



(画像提供:気象庁)



台風から身を守るためにはどうすれば良いのか考えてみましょう。